

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

[法人の評価]

■ 1. 目的適合性（公益性）

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目	法人	市担当	委員会
①設立目的に沿った事業をしているか。	○	○	
②現在の社会経済状況のもとでも設立目的は有効か、希薄化していないか。	○	○	
③他の民間事業者との競合はないか。代替可能な類似の事業がないか。	○	○	
④事業廃止により市民は不利益を被るか。	○	○	

出資等法人の自己評価

<input checked="" type="checkbox"/> A. 適切	<input type="checkbox"/> B. 概ね適切	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
---	----------------------------------	-----------------------------------	--

評価の理由	<p>①について 設立目的である、質の高い芸術体験の機会を提供するとともに、住民の創造的な文化活動への支援を推進し、心豊かな地域社会の形成に積極的に取り組んでいる。 ア 質の高い芸術を鑑賞・体験する機会の提供事業として、国内外で活躍する芸術家公演 12 公演 イ 住民自らによる芸術文化の創造支援及びそのための人材育成事業として、普及啓発ワークショップ及びクリニック 12 件、アウトリーチ 9 件、市民参加型公演 3 件、子どもワークショップ 82 件、バックステージツアー 10 件 ウ 芸術文化関連の情報の蓄積及び受信事業として、FMラジオでの告知放送や情報誌「さくらホール PRESS」の発行など エ 市の芸術文化施設の運営管理については、指定管理施設さくらホールの管理を実施しており、平成 27 年 2 月に来館者 300 万人を達成している。</p> <p>②について 平成24年6月に「劇場、音楽堂等の事業の活性化に関する法律」が制定され、劇場・音楽堂等の現状と課題、そして課題克服のための取組指針が示された。その様な中において、劇場・音楽堂等が行う芸術の創造発信や専門の人材の養成、普及啓発に対する支援が行われるなど、設立目的は更に重要性が増している。</p> <p>③について 北上市における芸術文化拠点施設として代替施設及び専門性を有する事業者は無いため、競合はない。また、芸術文化活動の裾野の拡大、芸術文化の振興のため住民一体型、地域やNPO法人との協働型事業に継続的に取り組んでおり、競合する事業者、代替え可能な類似する事業はないと考える。</p> <p>④について 事業が廃止されることにより、質の高い芸術文化体験機会の提供、市民の文化活動支援が出来なくなるため、北上市総合計画に方向付けされた芸術文化の基本方針の実現が難しくなり、市民の芸術文化活動に支障をきたす。</p>
-------	--

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

市担当部課の点検評価				
評価の理由	<input checked="" type="checkbox"/> A. 適切	<input type="checkbox"/> B. 概ね適切	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
	<p>①について 設立目的の沿った事業実施により、市の芸術文化の振興に寄与している。</p> <p>②について 平成24年に劇場、音楽堂等の活性化に関する法律が施行され、劇場、音楽堂等における実演芸術の振興を図ることが明文化されており、設立目的の重要性は上がっている。</p> <p>③について 市内に競合する事業者はいない。また、年間計画により個別の収益にとらわれずさまざまな分野の公演を開催しているほか、アウトリーチの実施など市民の芸術体験機会の創出に努めており、適切に事業を実施している。</p> <p>④について 事業が廃止されると、質の高い舞台芸術の鑑賞機会の提供や、芸術文化活動団体の公演や日頃の活動の場が失われることとなり、市民が不利益を被ることとなる。</p>			
政策評価委員会の評価				
政策評価委員の意見	<input type="checkbox"/> A. 適切	<input type="checkbox"/> B. 概ね適切	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
	This area is intentionally left blank for the committee's opinion			

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

■ 2. 財務状況（経営の持続可能性）

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目		法人	市担当	委員会
①市に対する財政依存度が減少の方向にあるか。（削減努力をしているか）		○	○	
②事業に係る市に対する財政依存度は低いか。（市からの委託事業等以外の自主事業の割合が高いか）		○	○	
出資等法人の自己評価				
評価の理由	<input checked="" type="checkbox"/> A. 適切		<input type="checkbox"/> B. 概ね適切 （一部見直し）	
	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切 （一部見直し）		<input type="checkbox"/> D. 不適切 （抜本見直し）	
①について 施設管理のための必要経費は北上市からの指定管理料で賅っている。一般会計における財団運営費は運営補助金が充当されているが、その他については自主財源で対応している。 財団運営補助金については、平成23年度から据え置きとなっており、人件費昇給分等については、財団からの自主財源からの持ち出しとなっている。また、財源充当の工夫により、一部を返還している。				
②について 平成26年度は自主事業として24件実施したが、その内北上市からの委託事業はなく、補助金事業としては2本のみ（青少年芸術鑑賞事業及び北上市民劇場）である。自主事業の主な財源としては、チケット料金収入、施設利用料金、協賛やスポンサー等の広告料収入の他、文化庁等の補助金であり、積極的に増収に取り組むとともに、事業の選択と集中を徹底し、全ての経費について効率化を図るよう努めている。				
市担当部課の点検評価				
評価の理由	<input checked="" type="checkbox"/> A. 適切		<input type="checkbox"/> B. 概ね適切	
	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切		<input type="checkbox"/> D. 不適切 （抜本見直し）	
①について 施設の管理運営についてはその大半が市からの指定管理料と補助金で賅われている。消費税及び電気料金の変更分のみ増額はあるものの、基本的に据置となっているなかで適切に事業実施されている。				
②について チケット料金や施設利用料金、広告収入の増収に努めるほか、文化庁等からの補助金、助成金を積極的に活用し事業を実施しており、市への財源の依存度は低い。				
政策評価委員会の評価				
政策評価委員の意見	<input type="checkbox"/> A. 適切		<input type="checkbox"/> B. 概ね適切	
	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切		<input type="checkbox"/> D. 不適切 （抜本見直し）	

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

■ 3. 運営状況（計画性および効率性）

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目	法人	市担当	委員会
①経営の基本理念・方針を策定しているか。	○	○	
②中長期経営計画を策定し、計画的に事業運営を行っているか。	○	○	
③設立目的に沿った十分な成果を上げているか。	○	○	
④顧客ニーズを適切に把握できているか。	○	○	
⑤市民への情報公開を積極的に行っているか。	○	○	
⑥効率的な組織体制となっているか。（職員の技術力・専門性は十分に確保されているか、また適切な人員配置ができているか。）	○	○	
⑦役職員の人件費は適切か。	○	○	

出資等法人の自己評価

<input checked="" type="checkbox"/> A. 適切	<input type="checkbox"/> B. 概ね適切	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
---	----------------------------------	-----------------------------------	--

評価の理由

<p>①について 設立趣意書および定款を了知したうえで、平成25年度に経営計画を策定した。</p> <p>②について 平成25年度に経営計画を策定し、平成26年度から計画に則って事業運営をしている。自主事業については個別に事業評価を行い、要因分析に努めている。</p> <p>③について 設立目的である質の高い芸術体験の機会として公演の内容及び事業本数とも質の高い事業を継続実施するとともに、普及啓発、人材育成型事業においても、ホール以外の様々な場所で、多くの市民が芸術文化に触れるアウトリーチ事業などに重きをおいて積極的に実施し、評価を得ている。またホールの利用者に対してきめ細やかなサービスや専門的な舞台技術を提供できる施設環境を整え、市民の芸術文化活動を支援するなど成果を上げている。</p> <p>④について 運営にあたっては理事会、評議委員会及び北上市職員や芸術文化に関する有識者で構成する運営委員会等からの幅広い意見を集約して、事業を実施している。自主事業では、各事業の協力団体等と協働の中でニーズ把握に努めている。施設利用においては、利用者のニーズの高いダンス利用に対応したミラーを準備するなど柔軟に対応し、高い稼働率を維持している他、新規利用者数と利用件数ともに増加している。</p> <p>⑤について 情報受発信事業として、ホームページや情報誌を作成し充実させるとともに、施設内にある情報コーナーには芸術文化に関するチラシの他、地域の企業や市民活動の情報も集約している。また、全国的にも例の少ないサテライトスタジオを有する施設を活用し、職員がラジオ番組「STUDIO SAKURART」を制作して生放送するなど貴重なツールを生かして情報発信に努めている。財団概要、役員、決算状況についても、ホームページ上で情報公開している。</p> <p>⑥について 職員13名、臨時職員5名、利用サービス課、企画事業課、総務課の3課体制で1年365日営業を行っている。 利用サービス課では、利用者が使いやすい工夫をハード及びソフト両面から検討し、スピーディーに提供できる体制としている。また、高い専門的技術を持った舞台技術専門職員を配置し、さくらホールの長所である高レベルでの確かな技術サービスを提供している。なお、技術専門職を職員として有する施設は、県内では多くない。</p>

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

企画事業課では「さくらホールブランド」を確立すべく、個性的でありながら親しみやすく、市民の芸術文化の育成に寄与できるよう、様々な情報収集を行う中で専門知識を蓄積し、事業展開で有効に活用できる体制となっている。

総務課は、各職員が利用者に対し迅速かつ適切にサービスを提供できるよう、事務処理及び会計処理を行うと共に、法令を順守した業務遂行、関係各所とのスムーズな連携となるような体制となっている。

⑦について

職員の給与は、概ね市職員の80%に抑えられているのが現状である。ただこれまで、業務内容・量・事業実績に対し、給与体制が適正であるか、協議・話し合いがなされてこなかった。10年の節目を迎え、新たなスタートを切った今、適切な人件費について見直し、協議しながら改善していく必要がある。

市担当部課の点検評価

評価の理由	<input checked="" type="checkbox"/> A. 適切 <input type="checkbox"/> B. 概ね適切 <input type="checkbox"/> C. 一部不適切 <input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)			
	①について 平成25年度に経営計画が策定されている。 ②について 経営計画に基づき適切に事業実施されている。 ③について 質の高い芸術鑑賞の場を提供するとともに、アウトリーチの実施により市民が芸術文化活動にふれる場を創出している。利用者数も年々上昇しており、市民の芸術文化活動の拠点として成果を上げている。 ④について 幅広い公演を実施するほか、施設利用者の希望には柔軟に対応しておりニーズに沿った運営がなされている。 ⑤について ホームページにより情報提供するほか、情報誌を定期的に全戸配布することにより市民に積極的に情報提供している。 ⑥について 舞台技術、事業企画、受付などそれぞれ精通した職員が対応しており、利用者のニーズに適切に対応している。 ⑦について 市職員に対して8割程度の給与体系だが、他の出資法人との比較では充実した給与となっている。また、特別会計（事業実施分）の収支残額の一部を職員に還元するシステムとなり待遇の向上が期待できる。			

政策評価委員会の評価

政策評価委員の意見	<input type="checkbox"/> A. 適切 <input type="checkbox"/> B. 概ね適切 <input type="checkbox"/> C. 一部不適切 <input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)			

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

[市の関わり方の評価]

■ 4. 市の施策との関わり（市の方針評価）

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目	市担当	委員会
①市の施策と法人の設立目的、活動内容は適切な方向性にあるか。	○	
②市の期待する成果を十分に上げることが見込めるか。	○	
③市の財政的・人的関与状況は適切か。	○	
④市の方針によらない場合に、市民が不利益を被るか。	○	

市担当部課の点検評価

評価の理由	<input checked="" type="checkbox"/> A. 適切 <input type="checkbox"/> B. 概ね適切 <input type="checkbox"/> C. 一部不適切 <input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
	①について 市民が主体的な芸術文化活動を行うことができる環境を提供するため、北上市文化創造の設立目的は適切なものである。またホールでの公演のみでなく、アウトリーチの実施による裾野の拡大や市民劇場などの参加型事業の実施、アートファクトリーでの芸術文化活動支援が行われ適切に事業が実施されている。 ②について 市民の芸術文化活動の拠点として施設利用者は増加傾向にあり、昨年度は過去最高の利用者数となっている。今後も更に多くの市民が芸術文化活動を行う場として機能していくと見込まれる。 ③について 消費税率や電気料金の改定に伴い指定管理料の増額を行い、法人の事業運営を妨げないよう対応している。 ④について 市内にはさくらホールのほかに同様の施設はなく、そのホールで実施される鑑賞事業や各芸術文化団体による自主公演、アートファクトリーを活用した多様な活動の場として必要な施設となっており、このような環境が提供されなくなってしまうと市民が不利益を被ることとなる。

政策評価委員会の評価

政策評価委員の意見	<input type="checkbox"/> A. 適切 <input type="checkbox"/> B. 概ね適切 <input type="checkbox"/> C. 一部不適切 <input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
	(意見記入欄)

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

■ 5. 総括意見

政策評価 委員の意見	
---------------	--

■ 6. その他特記事項・参考意見等

政策評価 委員の意見	
---------------	--

■ 7. 市と協働して事業を行ううえでの市に対する意見等

出資法人等 の意見	北上市との協働事業実施にあたり、目標に対する具体的な成果項目を設定していく議論を充実させるべきである。事業の継続、レベルの向上において当財団が手腕を発揮し、市の芸術文化の施策推進に貢献するためにも、継続的な事業実施、点検評価の共有まで含めた事業のあり方を構築する必要がある。
--------------	---